

取扱説明書 保証書付

**more+**  
life design

パネルオイルヒーター

# PANEL OIL HEATER

MCE-3309 ●400W / 800W / 1200W 切替 ●転倒時電源自動遮断装置付

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、けがや火傷、感電等をさします。  
 ※2 物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。

### 安全上のご注意

	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。
--	---	--	---

	禁止(してはいけないこと)を示します。		強制(必ずすること)を示します。
--	---------------------	--	------------------

### 警告

	・絶対に分解・修理・改造は行わない。 ※製品の故障、感電や思わぬけがにつながるおそれがあります。
	・子供等取扱に不慣れな方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。 ※火傷や感電・思わぬけがの原因となります。 ・電源コードが痛んだりコンセントの差し込みが緩い時は使用しない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。 ・電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。
	・浴室等の湿気の多い場所・水のかかる場所で使用しない。また本体を水につけたり水をかけたりしない。 ※感電・ショート・火災・故障の原因となります。
	・濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない。※感電の原因となります。
	・本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ※感電・ショート・火災・故障の原因となります。
	・電源プラグは根元まで確実に差し込む。 ・必ず交流 100V で使用する。 ・電源プラグのほこり等は定期的にとる。 ・お手入れは、電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う。

### 注意

	・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。 ・不安定な場所で使用しない。 ・破損したら使用しない。 ・タコ足配線はしない。 ・子供の手の届く場所に保管しない。 ・使用中はパネル部分に触れない。※火傷の原因となります。 ・本体の上に直接物を置いたり、布等をかぶせたりしない。 ※火災の原因となります。 ※布類を干す際は、必ずフレームとポールを組立てて本体に取付けて下さい。
	・電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグ部分を持って抜く。 ・使用中に本体の側を離れる場合は必ず電源スイッチを OFF にする。サーモスタットの働きにより、電源スイッチのライトが消えている場合があります。必ず電源スイッチを押して OFF にし、電源を切ってください。 ・お手入れは本体が冷めてから行う。
	・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

### 使用上のご注意

この内容を守らないと、製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障につながります。

- 本製品は一般家庭用です。業務用又その他の用途でのご使用はおやめ下さい。
- 取扱説明書に記載の温度は目安です。使用状況(設置場所)や環境(気温・湿度)により異なります。
- 取っ手は本体を引いて移動させる際に使用します。取っ手部分を持って本体を持ち上げないで下さい。
- 熱に弱いものやカーテンの側でのご使用はおやめ下さい。
- パネル部分にコードを巻き付けしないで下さい。
- タオル等を干す際はパネルに直接触れないように掛けて下さい。
- 熱に弱い布等は掛けしないで下さい。
- 高温になる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所への設置・保管・放置はおやめ下さい。
- 落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
- お手入れの際のシンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤のご使用はご遠慮下さい。

仕様					
寸法	約W90×D26×H65.5cm	定格電圧	100V	放熱の方式	油入式
コード	約180cm	定格周波数	50/60Hz	温度調節の方式	可変式
重量	約9kg	定格消費電力	400W/800W/1200W	暖房能力	1200W
材質	ABS樹脂 PC 鉄			熱媒体の種類	鉱油
適用床面積	プレハブ洋室16㎡(～10畳) 木造和室12㎡(～8畳) ※1200W使用時				

### セット内容・各部名称

【セット内容】  
 本体  
 キャスター×2  
 フレーム×2  
 ポール×2

### キャスターの取付け方

※パネルを縦にしてキャスターを取付けて下さい。

### 使用方法

① 本体を安定した場所に置き、電源プラグをコンセントに差し込みます。

② 使用するW数に合わせて、電源スイッチをONにします。  
 ONにしたスイッチはライトが点灯します。(温度調節ダイヤルを低温に設定している場合、電源スイッチを押しても加熱が始まらない場合があります。[温度調節ダイヤルについて]参照)

③ 温度調節ダイヤルで温度を調節します。

※温度は目安です。使用状況(設置場所)や環境(気温・湿度)により異なります。

### 温度調節ダイヤルについて

サーモスタット機能が働くため下記の点にご注意下さい

※温度調節ダイヤルを低い設定にしている場合、電源スイッチをONにしても電源が入らず(ライトが点灯せず)、加熱が始まらない場合があります。  
 ⇨温度調節ダイヤルを、カチッという音がなり電源スイッチのライトが点灯するまで、ゆっくりとMAXの方向に回して下さい。  
 ⇨カチッという音がして電源スイッチのライトが点灯する温度調節ダイヤルの位置は、使用環境(気温や使用状況・設置場所等)によって異なりますのでご注意ください。本体が温まっている場合や、室温が温かい場合はダイヤルを大きくMAXの方向へ回さないで電源が入らない場合があります。  
 ※温度調節ダイヤルを高い温度設定で使用した直後に低い温度設定に変えた場合、本体の温度が下がるまでの間、電源スイッチのライトは消灯し加熱も停止します。  
**上記の内容はサーモスタット機能によるものです。故障ではありませんので安心してご使用下さい。**

### 温度調節ダイヤルについて

温度の目安	400W	800W	1200W
	約48～65℃	約55～88℃	約63～94℃

※400Wの電源スイッチと800Wの電源スイッチを両方ONにすると1200Wで使用できます。

### 温度調節ダイヤルについて

サーモスタット機能が働くため下記の点にご注意下さい

※温度調節ダイヤルを低い設定にしている場合、電源スイッチをONにしても電源が入らず(ライトが点灯せず)、加熱が始まらない場合があります。  
 ⇨温度調節ダイヤルを、カチッという音がなり電源スイッチのライトが点灯するまで、ゆっくりとMAXの方向に回して下さい。  
 ⇨カチッという音がして電源スイッチのライトが点灯する温度調節ダイヤルの位置は、使用環境(気温や使用状況・設置場所等)によって異なりますのでご注意ください。本体が温まっている場合や、室温が温かい場合はダイヤルを大きくMAXの方向へ回さないで電源が入らない場合があります。  
 ※温度調節ダイヤルを高い温度設定で使用した直後に低い温度設定に変えた場合、本体の温度が下がるまでの間、電源スイッチのライトは消灯し加熱も停止します。  
**上記の内容はサーモスタット機能によるものです。故障ではありませんので安心してご使用下さい。**

### 注意

※側を離れる場合は必ず電源スイッチをOFFにして下さい。サーモスタットの働きにより、電源スイッチのライトが消えている場合があります。必ず電源スイッチを押してOFFにし、電源を切ってください。  
 ※パネル部分は高温になりますので、絶対に触れないで下さい。

### タオルハンガーを使用する

① フレームにポールを差し込み、タオルハンガーを組立てます。  
 ② 本体の上に組立てたタオルハンガーを取付けます。  
 ③ ポールにタオル等をかけます。

※タオル等を干す際はパネルに直接触れないように掛けて下さい。  
 ※衣類用ハンガー等は使用せず、直接ポールにかけて下さい。  
 ※熱に弱い布等は掛けしないで下さい。

### 自動温度調節機能(サーモスタット機能)

暖めすぎの無駄をはぶき、一定の温度に保ちます。

設定された温度に達すると自動で加熱をやめ、温度が下がると再度自動で加熱をはじめめる機能です。

※自動温度調節機能が働くため、電源スイッチがONの状態でもライトが点灯しない場合があります。(温度調節を高い温度設定で使用した直後に低い温度設定に変えた場合や温度調節を低い設定にしている場合等)  
 ※自動温度調節機能の動作は、使用環境(気温や使用状況・設置場所等)によって異なります。本体に直接風が当たる場所や空気の流通の悪い場所でのご使用はご遠慮下さい。  
 ※使用環境(気温や使用状況・設置場所等)によって、電源が入る温度調節ダイヤルの位置は異なりますので、加熱が始まらない場合は、カチッという音がなり電源スイッチのライトが点灯するまで、ゆっくりとMAXの方に回して下さい。

### 転倒時電源自動遮断装置

万一、ヒーターが倒れた場合、自動で運転が止まる機能です。

※転倒時電源自動遮断装置が働いた場合、本体を起こしても装置が解除されず電源が入らない場合があります。そのような場合は、本体を数回ゆすり、再度電源を入れて下さい。  
 ※輸送の際等に転倒時電源自動遮断装置が作動してしてしまう場合があります。初回ご使用時に電源が入らない場合は、数回本体をゆすり再度電源を入れて下さい。

### お手入れ方法

※必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めてからお手入れを行って下さい。  
 ※ベンジン・アルコール・シンナーなどの揮発性有機溶剤のご使用はおやめ下さい。  
 ●本体を、やわらかい布で乾拭き、またはかたく絞った布で拭いて下さい。